

鈴鹿市ではキッズウィークを行っています。

「キッズウィーク」とは、

地域ごとに、夏休みなどの学校休業日の一部を分散化等して、それに合わせて大人は有給休暇を取得することで、

大人と子供が一緒に休日を過ごす機会をつくろうとする取組です。



©株式会社 モビリティランド 鈴鹿サーキット

2019 FIA F1 世界選手権シリーズ第17戦 日本グランプリ
令和元年 10月10日(木)～10月13日(日)



鈴鹿市の小・中学校、幼稚園では、
10月11日(金)が、学校休業日となります。

鈴鹿市のキッズウィーク

鈴鹿市では、2018年から公立幼稚園、小学校、中学校の夏休みを分散化して、大人と子供が触れ合いながら充実した時間を過ごすことができるように、《キッズウィーク》をスタートしました。

子供の休みに合わせて年次有給休暇を取得して
家族や地域と自分の時間を作りましょう！

キッズウィークが 始まっています。



●「キッズウィーク」に合わせて有給休暇を取得しませんか？

「キッズウィーク」とは、地域ごとに、夏休みなどの学校休業日の一部を分散化等して、それに合わせて大人は有給休暇を取得することで、大人と子供と一緒に休日を過ごす機会をつくろうとする取組です。

●年次有給休暇の「計画的付与制度」を活用しませんか？

年次有給休暇の付与日数のうち、5日を除いた残りの日数については、労使協定を結べば、計画的に休暇取得日を割り振ることができる制度です。この制度を導入している企業は、導入していない企業よりも年次有給休暇の平均取得率が8.5ポイント高くなっています（平成29年）※。この制度を導入することによって年次有給休暇が取りやすくなると考えられます。※就労条件総合調査

1) 導入のメリット

事業主

労務管理がしやすく計画的な業務運営ができます。

従業員

ためらいを感じずに、年次有給休暇を取得できます。

2019年10月

※即位礼正殿の儀の行われる日

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2) 導入例

キッズウィークが行われる
10月11日（金）に合わせて
導入しませんか？

また、2019年10月の場合、2日の祝日があります。
年次有給休暇を土日・祝日に組み合わせて連続休暇に。

3) 日数 付与日数から5日を除いた残りの日数を計画的付与の対象にできます。

例1 年次有給休暇の付与日数が10日の従業員

5日	5日
事業主が計画的に付与できる	従業員が自由に取得できる

例2 年次有給休暇の付与日数が20日の従業員

15日	5日
事業主が計画的に付与できる	従業員が自由に取得できる

◎前年度取得されずに次年度に繰り越された日数がある場合には、繰り越し分を含めた付与日数から5日を引いた日数を計画的付与の対象とすることができます。

4) 活用方法 企業、事業場の実態に合わせたさまざまな付与の方法があります。

方式	年次有給休暇の付与の方法	適した事業場、活用事例
一斉付与方式	全従業員に対して同一の日付与	製造部門など、操業を止めて全従業員を休ませることのできる事業場などで活用
交替制付与方式	班・グループ別に交替で付与	流通・サービス業など、定休日を増やすことが難しい企業、事業場などで活用